

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 7年 6月 24日

八戸市長 殿



提出者

住 所 青森県十和田市大字大沢田字池ノ平1-304

氏 名 共栄産業株式会社

代表取締役 中村 栄吉

電話番号 0176-27-3001

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事 業 場 の 名 称	共栄産業株式会社
事 業 場 の 所 在 地	青森県十和田市大字大沢田字池ノ平1-304
計 画 期 間	令和 7年 4月 1日～令和 8年 3月 31日

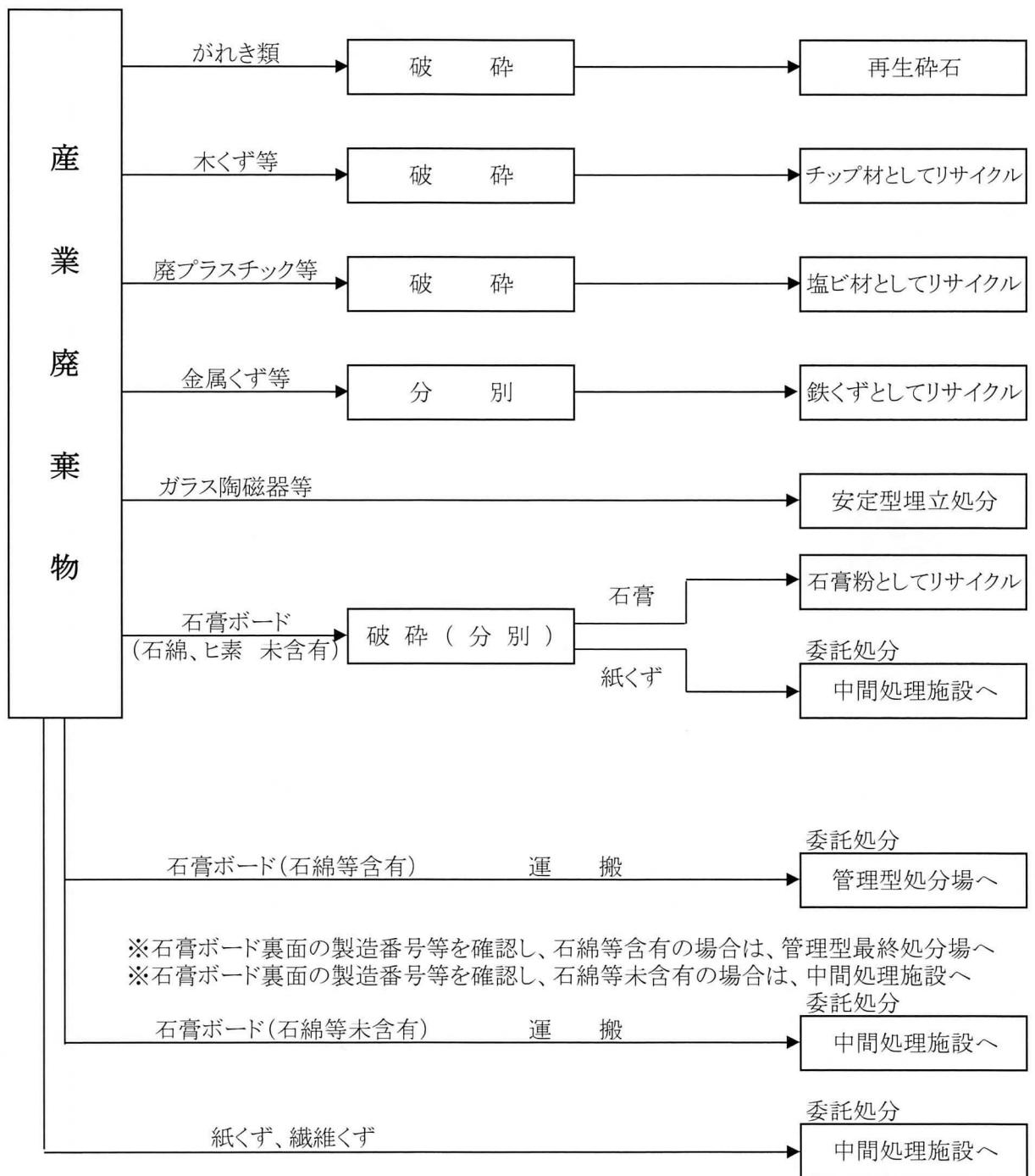
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事 業 の 種 類	土木工事 とび・土工工事業 建築工事業 解体工事業
②事 業 の 規 模	建設工事完工高 3,263,95万円
③従 業 員 数	170人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

(日本工業規格 A列4番)

別紙1

産業廃棄物の一連の処理の工程



産業廃棄物処理フロー図

別紙2

産業廃棄物処理に係る管理体制に関する事項

責任者及び管理組織図

総括責任者

代表取締役 中村 栄吉

廃棄物担当

専務取締役

○廃棄物処理に関する検討

廃棄物の再生利用、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。

○廃棄物処理方針の策定

○廃棄物処理計画の作成

○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討

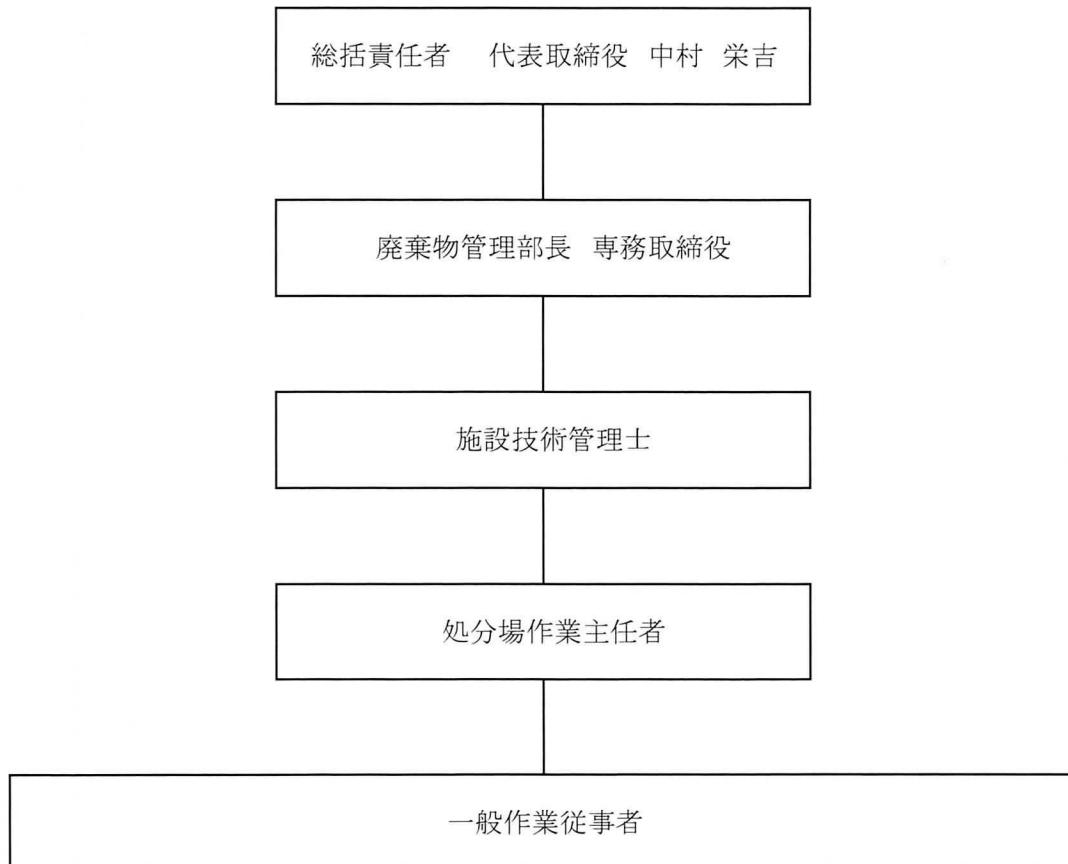
○産業廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握

○産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物管理票の交付・管理

○社員に対する教育・啓発

○その他関係する事項

廃棄物管理組織



産業廃棄物処理計画書の〔入力支援用シート〕

提出年度 令和 7 年度 ←提出年度の数字をご記入いただくと、様式の第2面にある「前年度実績」の年度に反映されます。

		計画										
		A 排出量 (t)	B 自ら再生利用 行った量 (t)	C 自ら熱回収を 行った量 (t)	D 自ら中間処理によ り減量した量 (t)	E 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 量(t)	F 産業廃棄物の 全処理委託量 (t)	G 優良認定処理業者 への処理委託量(t)	H 再生利用業者への 処理委託量(t)	I 認定熱回収業者 への処理委託量(t)	J 認定熱回収業者以外の 熱回収業者への処理委託量 (t)	
名称	現状／計画											
産業廃棄物の種類	前年度実績 ／ 今年度の計画	当該事業場において生じた産業廃棄物の種類ごとの量	Aの量のうち、自ら再生利用した量	Aの量のうち、自ら熱回収を行った量	Aの量のうち、自ら中間処理により減量した量	Aの量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	中間処理及び最終処分を委託した量	Fの量のうち、優良認定処理業者への処理委託量	Fの量のうち、再生利用業者への処理委託量	Fの量のうち、認定熱回収施設設置者である処理業者への焼却処理委託量(I、J除く)	Fの量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量	
廃プラスチック類	現状	10.26			3.22		7.04		6.72			
	計画	9.23			2.89		6.33		6.04			
ガラス陶磁器等くず	現状	33.07				9.60	23.47	4.25		1.83		
	計画	29.76				8.64	21.12	3.82		1.64		
コンクリート片	現状	1414.69			1314.84		99.85		99.85			
	計画	1273.22			1183.35		89.86		89.86			
木くず	現状	26.88			26.88							
	計画	24.19			24.19							
廃アスファルト	現状	202.71					202.71		202.71			
	計画	182.43					182.43		182.43			
レンガ破片など	現状	0.30			0.30							
	計画	0.27			0.27							
石綿含有産業廃棄物	現状	5.35				5.35						
	計画	4.81				4.81						
繊維くず	現状	0.55				0.55						
	計画	0.50				0.50						
廃油	現状	0.06				0.06		0.06				
	計画	0.05				0.05		0.05				
建設混合廃棄物	現状	0.31				0.31		0.31				
	計画	0.28				0.28		0.28				
	現状											
	計画											
	現状											
	計画											
	現状											
	計画											
合計	現状	1694.18	0	0	1345.24	9.6	339.34	4.25	309.65	1.83	0	
	計画	1524.74	0	0	1210.7	8.64	305.38	3.82	278.66	1.64	0	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
	排 出 量	10.26 t	33.07 t
(これまでに実施した取組) 再利用困難な、ガラス・陶磁器類のみを安定型埋立て処分し、廃プラスチック等は中間処理に努めています。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
	排 出 量	9.23 t	29.76 t
(今後実施する予定の取組) 前年度と同様に、再利用困難な、ガラス・陶磁器類のみを安定型埋立て処分し廃プラスチック等は中間処理業者に委託処理し、埋立最終処分業者への委託処理を少なくする計画です。			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 建物の解体工事で発生する廃建材は、できる限り分別し混合廃棄物を排出しないように努めています。
	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 建物の廃建材の石膏ボード・木毛板・モルタル・スレート板・タイル・断熱材・防水材等は細かく分別し、混合廃棄物を排出しないように努める計画です。
②計画	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	木くず	廃アスファルト	レンガ破片など
排出量	1,414.69 t	26.88 t	202.71 t	0.30 t

リサイクル事業の推進として、コンクリート片、レンガ破片は破碎処理し再生碎石とし再生利用し、木くずは破碎処理しチップとし再生利用しました。廃アスファルトは合材プラントの再資源化処理施設に委託処理しました。

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	木くず	廃アスファルト	レンガ破片など
排出量	1,273.22 t	24.19 t	182.43 t	0.27 t

前年度と同様にリサイクル事業の推進として、コンクリート片は破碎処理し再生碎石とし再生利用し、木くずは破碎処理しチップとし再生利用する計画です。廃アスファルトは合材プラントの再資源化処理施設に委託処理する計画です。レンガ破片などのモルタル屑等は破碎処理し再生材ダストとして再生利用する計画です。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	繊維くず	廃油	建設混合廃棄物
排出量	5.35 t	0.55 t	0.06 t	0.31 t

石綿含有建材は管理型最終処分業者に委託処理し、繊維くず、建設混合廃棄物は中間処理業者に委託処理し、できる限り埋立最終処分業者への委託処理を少なくし埋立処分の減量に努めました。廃油は中間処理リサイクル業者へ委託処理し再利用に努めました。

【目標】

産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	繊維くず	廃油	建設混合廃棄物
排出量	4.81 t	0.50 t	0.05 t	0.28 t

前年度と同様に石綿含有建材は管理型最終処分業者に委託処理し、繊維くず、建設混合廃棄物は中間処理業者に委託処理し、できる限り埋立最終処分業者への委託処理を少なくし埋立処分の減量に努める計画です。廃油は中間処理リサイクル業者へ委託処理し再利用に努める計画です。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	3.22 t	- t
廃プラスチックは破碎処理し塩ビチップ材として再利用に努めました。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	2.89 t	- t
(今後実施する予定の取組) 廃プラスチックは破碎処理し塩ビチップ材として再利用に努める計画です。			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	木くず	廃アスファルト	レンガ破片など
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	木くず	廃アスファルト	レンガ破片など
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	木くず	廃アスファルト	レンガ破片など
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1,314.84 t	26.88 t	- t	0.30 t

コンクリート片、木くず、レンガ破片はできるかぎり自社の処分施設で中間処理し再生利用に努め最終埋立処分の減量に努めました。

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	木くず	廃アスファルト	レンガ破片など
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1,183.35 t	24.19 t	- t	0.27 t

前年度と同様にコンクリート片、木くず、レンガ破片等はできるかぎり自社の処分施設で中間処理し再生利用に努め最終埋立処分の減量に努める計画です。

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	9.60 t
(これまでに実施した取組) 再利用困難なガラス・陶磁器類を安定型埋立処分しました。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	8.64 t
(今後実施する予定の取組) 前年度と同様に再利用困難なガラス・陶磁器類を安定型埋立処分する 計画です。			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
	全処理委託量	7.04 t	23.47 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	- t	4.25 t
	再生利用業者への 処理委託量	6.72 t	- t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	1.83 t
	認定熱回収業者以 外 の熱回収を行う業 者	- t	- t
(これまでに実施した取組) 廃プラスチック類は中間処理業者に委託処理し、ガラス陶磁器くず類 である断熱材と蛍光管は中間処理業者に委託処理し、埋立処分の減量 に努めました。			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	木くず	廃アスファルト	レンガ破片など
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	木くず	廃アスファルト	レンガ破片など
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	木くず	廃アスファルト	レンガ破片など
全処理委託量	99.85 t	- t	202.71 t	- t
優良認定処理業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
再生利用業者への処理委託量	99.85 t	- t	202.71 t	- t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t	- t	- t

コンクリート片は、再資源化施設へ委託処理し、廃アスファルトは合材プラントの再資源化施設に委託処理しました。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	繊維くず	廃油	建設混合廃棄物
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	繊維くず	廃油	建設混合廃棄物
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	繊維くず	廃油	建設混合廃棄物
全処理委託量	5.35 t	0.55 t	0.06 t	0.31 t
優良認定処理業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
再生利用業者への処理委託量	- t	- t	0.06 t	0.31 t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t	- t	- t

(これまでに実施した取組) 石綿含有建材は管理型最終処分業者に委託処理し、繊維くず、建設混合廃棄物は中間処理業者に委託処理し、できる限り埋立最終処分業者への委託処理を少なくし埋立処分の減量に努めました。廃油は中間処理リサイクル業者へ委託処理し再利用に努めました。

(第5面)

		【目標】		
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
②計画	全処理委託量		6.33 t	21.12 t
	優良認定処理業者への処理委託量		- t	3.82 t
	再生利用業者への処理委託量		6.04 t	- t
	認定熱回収業者への処理委託量		- t	1.64 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者		- t	- t
(今後実施する予定の取組) 前年度と同様に、廃プラスチック類は中間処理業者に委託処理し、ガラス陶磁器くず類である断熱材と廃蛍光管は中間処理業者に委託処理し、石膏ボードは優良認定の中間処理業者に委託処理し埋立処分の減量に努める計画です。				
※事務処理欄				

【目標】				
産業廃棄物の種類	コンクリート片	木くず	廃アスファルト	レンガ破片など
全処理委託量	89.86 t	- t	182.43 t	- t
優良認定処理業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
再生利用業者への処理委託量	89.86 t	- t	182.43 t	- t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t	- t	- t

コンクリート片は、再資源化施設へ委託処理し、廃アスファルトは合材プラントの再資源化施設に委託処理する計画です。

【目標】				
産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	纖維くず	廃油	建設混合廃棄物
全処理委託量	4.81 t	0.50 t	0.05 t	0.28 t
優良認定処理業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
再生利用業者への処理委託量	- t	- t	0.05 t	0.28 t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t	- t	- t

石綿含有建材は管理型最終処分業者に委託処理し、纖維くずは中間処理業者に委託処理し、廃油、建設混合廃棄物は再生利用業者へ委託処理する計画です。

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。